



第1回目のアンケートにご回答いただき、ありがとうございました。集計結果を報告いたします。
結果については学校評価委員会を取り上げ、協議しました。今後の学校教育に活かしていきたいと考えています。
また、学校運営協議会でも報告し、ご意見をいただきました。地域の皆様とよりよい学校づくりを進めていきたいと考えています。

分析と考察

＜児童について＞

全体の分析として、本校においては規範意識がよく育成されていると言えます。合言葉「みそあじ」の継続した指導を進めて参ります。人権感覚についてもよく育成されていると言えます。しかし、少数ではありますが、他者とのかわりに課題がある児童も見受けられます。社会に生きる人間性を育んでいくため、児童が互いに人の気持ちを考え、友達と仲良く楽しくすごせるような学級経営を継続していきます。

一方、学習意欲において課題が残ると言えます。

特に、(11)分からないことは先生に聞く。

(12)授業ですすんで発表する。

に課題が見られます。山ノ内校では、今年度体育科の研究を中心として、「主体的・対話的な深い学び」を目指しています。児童がすすんで自分の意見や考えを表現できるような授業を構成し、「分かる」喜びをもてるよう一人一人と関わり合い、どんな意見も認められるような学級経営をしていきたいと考えます。

＜教職員について＞

全体を通し、教職員の「よくできている」の割合が低いと考えられます。今後は、自信をもって「よくできている」と言えるように、具体的な基準を設け、取組を強化していきたいと考えています。それに対し、「できていない」という回答はありません。教育のプロとして、「できていない」ことがないのは当然ですが、「あまりできていない」ということに危機感をもって、改善に向けた研修に取り組んでいきます。

特に、(6)早寝、早起き、朝ごはんの生活習慣の定着に向けて、指導を繰り返し行っている。

(7)学習の準備を忘れないよう、予定表などを工夫している。

(9)自主的な家庭学習の習慣が定着するよう、家庭学習の進め方を指導している。

は、教職員の「あまりできていない」の割合が高かったため、校内で改善に向けた会議を行いました。(7)(9)については、昨年度も第1回アンケートで評価の低かった項目です。年度初めに共通理解を図り、児童の実態に応じた取組を行っていく計画は立てましたが、改善の余地があるという結果になりました。理由としては、やはり昨年度と同じで、「学校の取組として指導はしているが、特別な取組までは至っていない。」「よりよい取り組み方も分かっているが、実態にそぐわず、実行できていない。」というものでした。再度、各担任が何をしていくかを明確に、後期の教育活動を進めていきます。(6)についても、保健教育と学力向上の両面から、学校全体で取り組んでいきたいと思えます。

＜保護者について＞

保護者の皆様につきましては、いつも本校教育にご理解とご協力を賜り、本当にありがとうございます。今回、読書への働きかけが「よくできている・大体できている」を含めて半数を切っています。学校での読書や図書館活用について、再度お声かけいただければ幸いです。今後も、家庭学習や読書、基本的生活習慣を心がけることについてのお声かけなど、様々な点で学校と連携していただくことになるかと思えます。何卒、よろしくお願い申し上げます。

＜今後について＞

アンケートにご協力いただきありがとうございました。今回、子ども・家庭・学校がアンケートを通じてそれぞれ自己評価をしました。その結果から見えてきた課題に対して、今後どのように解決していくかを考えるよい機会になりました。教職員が共通の意識をもって学校教育の向上に努めていきます。また、自由記述欄にもたくさんのご意見をいただきました。ありがとうございます。その中で、「質問項目が分かりにくい」というご意見をいただきましたが、通年経過を分析する意図もありますので、次回も同じ質問とさせていただきます。来年度に向けての課題とさせていただきます。

次回アンケートについては、12月に実施させていただきます。アンケートの記入について、今後ご理解とご協力をよろしくお願い致します。

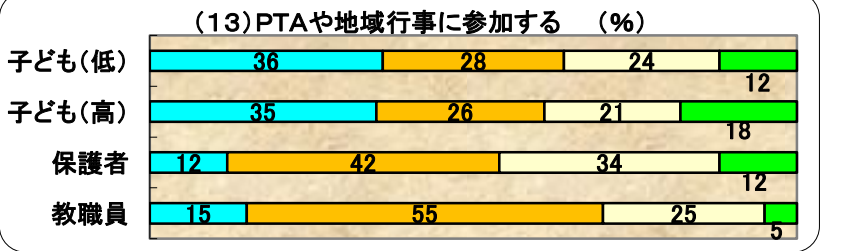
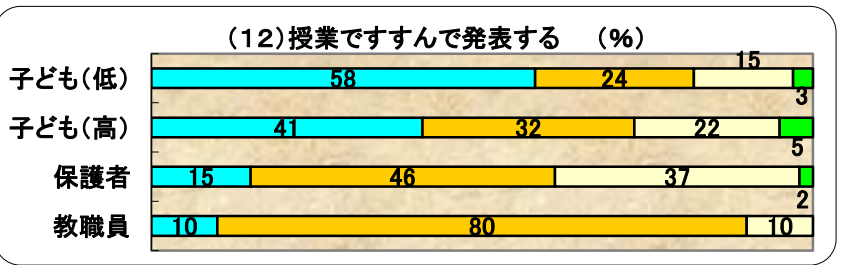
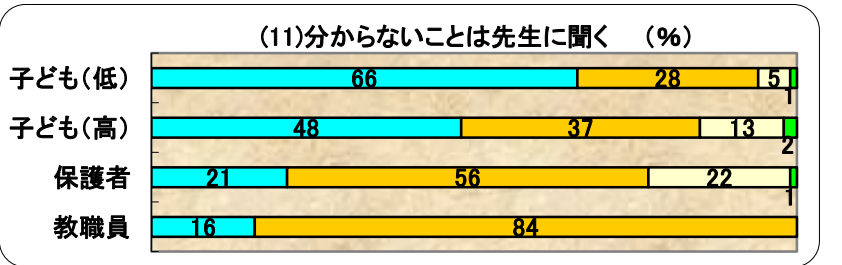
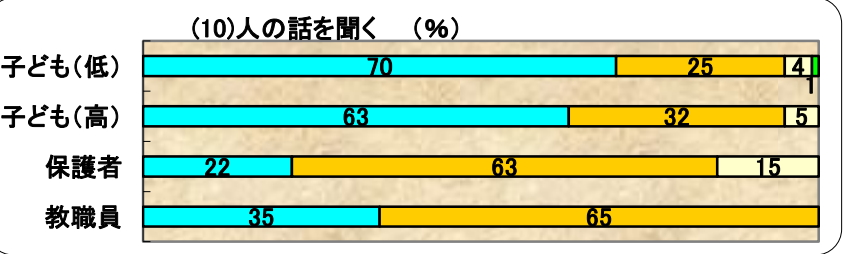
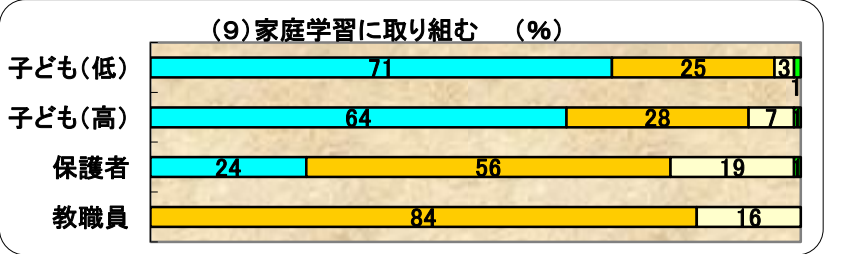
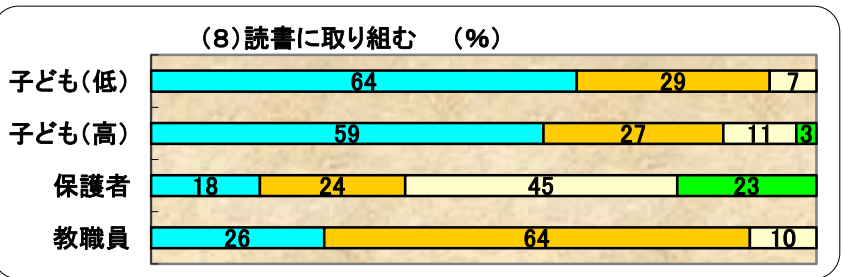
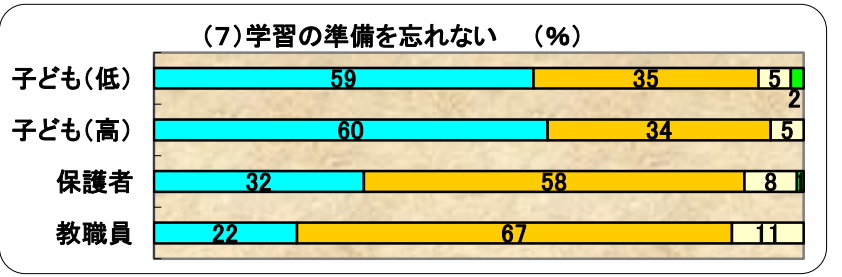
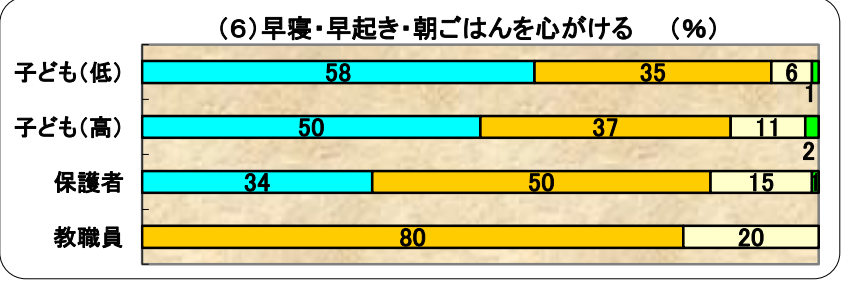
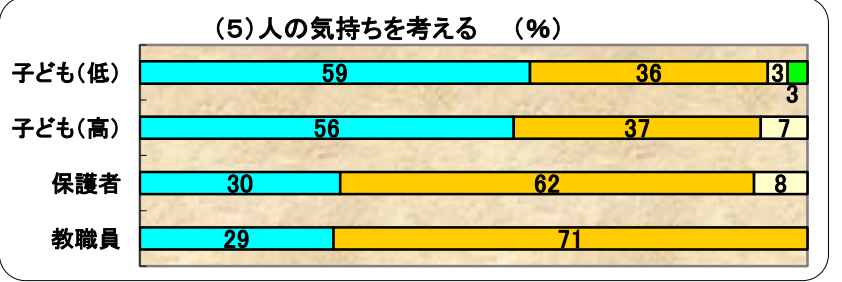
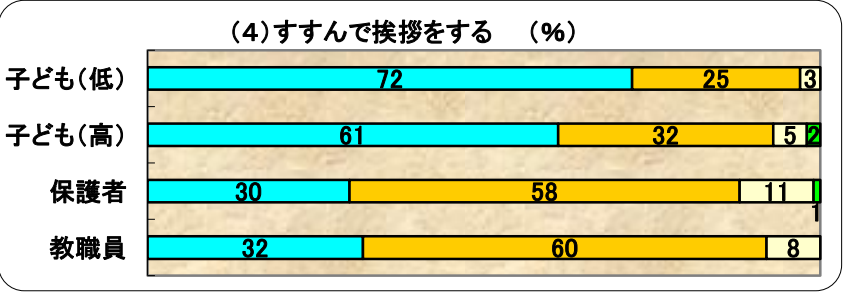
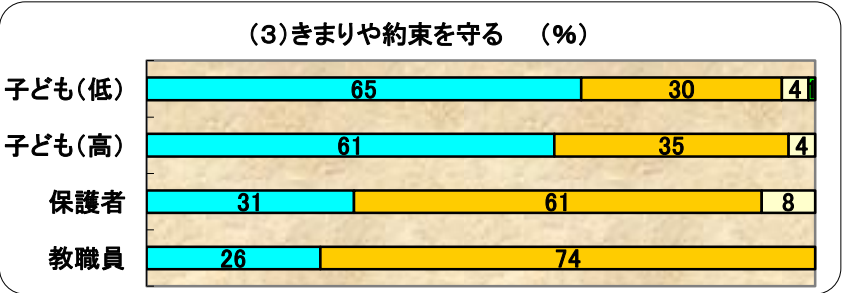
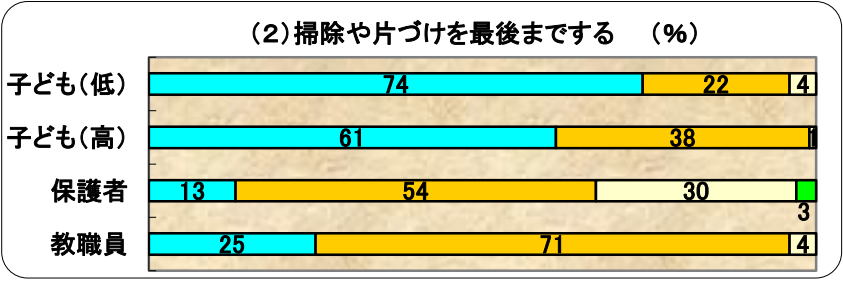
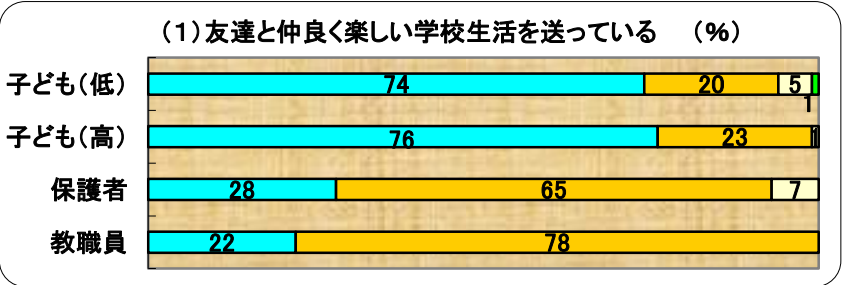
平成29年度 1回 アンケートデータまとめ

第1回目のアンケートにご回答いただき、ありがとうございました。集計結果を報告いたします。

凡例（左から） Aよくできている B大体できている Cあまりできていない Dできていない

アンケートは、子ども・保護者・教職員それぞれによる自己評価です。子どもについては、自分自身の実現度を質問しています。保護者・教職員については、自分の子どもへのかかわり方での実現度について質問しています。

(例) 児童：友達と仲良く楽しい学校生活を送っている。
保護者：誰とでも仲良くするように働きかけている。
教職員：友達と仲良く楽しい学校生活が送れるよう学級づくりを進めている。



※教職員については、担任でないと答えられない項目もありますので、無回答は母数に入れていません。
※今回の保護者アンケートの回収率は96.7%でした。
ご協力ありがとうございました。